

平成22年第2回定例会 壱岐市議会会議録(第2日)

議事日程(第2号)

平成22年6月9日 午前10時00分開議

日程第1	報告第1号	平成21年度壱岐市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	質疑、報告済み
日程第2	報告第2号	平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	質疑なし、報告済み
日程第3	報告第3号	平成21年度壱岐市下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告について	質疑なし、報告済み
日程第4	議案第60号	財産の無償譲渡について	質疑なし、 厚生常任委員会付託
日程第5	議案第61号	公の施設の指定管理者の指定について	質疑、 産業建設常任委員会付託
日程第6	議案第62号	平成22年度壱岐市一般会計補正予算(第1号)	質疑、 予算特別委員会付託
日程第7	議案第63号	平成22年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	質疑なし、 厚生常任委員会付託
日程第8	議案第64号	平成22年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	質疑なし 産業建設常任委員会付託
日程第9	議案第65号	平成22年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	質疑なし 産業建設常任委員会付託
日程第10	議案第66号	八幡浦地区特定漁港整備工事(1工区)請負契約の締結について	産業経済担当理事説明、質疑 産業建設常任委員会付託

本日の会議に付した事件

(議事日程第2号に同じ)

出席議員(20名)

1番 久保田恒憲君	2番 呼子 好君
3番 音嶋 正吾君	4番 町田 光浩君
5番 深見 義輝君	6番 町田 正一君
7番 今西 菊乃君	8番 市山 和幸君
9番 田原 輝男君	10番 豊坂 敏文君
11番 中村出征雄君	12番 鵜瀬 和博君
13番 中田 恭一君	14番 榊原 伸君

15番 久間 進君

16番 大久保洪昭君

17番 瀬戸口和幸君

18番 市山 繁君

19番 小金丸益明君

20番 牧永 護君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

#### 事務局出席職員職氏名

事務局長 松本 陽治君 事務局次長 加藤 弘安君

事務局係長 吉井 弘二君 事務局書記 村部 茂君

#### 説明のため出席した者の職氏名

市長 ..... 白川 博一君 副市長 ..... 久田 賢一君

教育長 ..... 須藤 正人君

吉岐島振興推進本部理事 ..... 松尾 剛君

市民生活担当理事 ..... 山内 達君 保健環境担当理事 ..... 山口 壽美君

産業経済担当理事 ..... 牧山 清明君 建設担当理事 ..... 中原 康壽君

消防本部消防長 ..... 松本 力君 総務課長 ..... 堤 賢治君

財政課長 ..... 浦 哲郎君 政策企画課長 ..... 山川 修君

管財課長 ..... 豊坂 康博君 会計管理者 ..... 宇野木眞智子君

教育次長 ..... 前田 清信君 病院管理課主幹 ..... 左野 健治君

午前10時00分開議

議長（牧永 護君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は20名であり、定足数に達しております。これより議事日程表（第2号）により本日の会議を開きます。

御報告します。本日までには白川市長より追加議案1件の送付があり、議事日程に追加いたしておりますので、御了承願います。

#### 日程第1．報告第1号～日程第3．報告第3号

議長（牧永 護君） 日程第1、報告第1号平成21年度吉岐市一般会計予算の繰越明許費繰

越計算書の報告についてから、日程第3、報告第3号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告についてまで3件を議題とし、これから質疑を行います。

初めに、報告第1号平成21年度壱岐市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告についての質疑を行います。質疑はありませんか。中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） 質問したいと思いますが、済みません。通告をちょっと忘れておまして、申しわけございません。繰越明許の件ですけれども、ここに参考資料をいただいておりますが、ちょっと確認ですが、参考資料の2ということで、3ページ分あって、その後、4ページ目にきめ細かな部分と4号できめ細かな部分の繰越明許となっておりますが、きめ細かな部分については国の予算が追加で来たものですから繰り越しになるのはやむを得んと思っておりますけれども、一般会計のその他で1、2、3ページ分、これだけの繰越明許があるということですか。

それを確認したいのと、市長にもお尋ねですけれども、ほんとにこれだけの、ページ数にわたって、5ページ、6ページの繰越明許がされることがほんとうに正常な姿なのか、これでいいと思っておられるのか。また、そうでなければ今後の対策なども聞かせてほしいと思うんですけれども。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 中田議員の御質問にお答えいたします。

繰越明許費については、毎年のようにかなり出ております。おっしゃいますように、きめ細の補正によるものについては、その執行が年があけてからということでございましたから、御理解いただけたと思いますけれども、御指摘のように、一般の分についてもかなり繰り越しております。これは正常な状態であるとは思っておりません。毎年御指摘を受けておるところでございます。

細かい内容については担当理事あるいは課長に説明させますけれども、平成22年度からは、やはり真摯にそのことについて解決を図らねばいけないと思っているところでございます。

議長（牧永 護君） 担当理事で説明ありますか。中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） それでは、建設関係について説明をいたしたいと思っております。

特に、1ページから2ページにありますが、ここに書いておりますように、補償工事の建物移転によるおくれとか登記の相続によるおくれが多少入っております。これは特に、どうしても島内の地権者であれば、同意の判がスムーズにとれるわけではありますが、どうしても島外になりますと、その地域性と申しますか、価格の面あたりで多少、なかなか同意の判がとれないというようなことが起こっております。

それから、ここに上げておる中で、まず3月にいただいて今報告をしているわけですが、ここ

の中にも若干4月で完成したものとかそういったものも、一応3月31日で終わらなければ繰越明許になるものですから、そういうことで計上させていただいております。先ほどうちの市長から説明がありましたが、今後はどうしても登記が終わらなければ着工をしないというようなことを計画をしてやっていかなければならないと、そのように考えております。

大変こうした、全体的に繰り越しが多く発生していることは大変申しわけなく思っておりますが、今後はできるだけこのようなことがないように、課全体で協力し合って、早期発注早期完成を目指していきたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

議長（牧永 護君） ほかはありませんか。中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） 前から同じような説明を聞くわけでございますが、ある程度わかるんです、工法とかそういう土地の関係は。前から言っておりますように、安易に繰り越しをしているのがないかというのが非常に懸念されます。強いて言えば、業者も一番壱岐の中でも雇用を確保してくれているところですので、ある程度は繰り越しをしてやって暇な時期にも仕事をやりたいという執行部の気持ちはわかるんですけども、余りなあなあになってしもうて、話によりますと、昨年5月に入札したやつが、現場に行ってみると、着工したのがもう年が明けてから、1月とか2月に着工しておる状況でございます。まじめにやっている業者もおるんです。工期内にきれいに終わらせる業者もおるし、中には忙しくて、仕事を取り過ぎて忙しい業者もおるんですよ。あんまりやかましく言うとなかなか難しい、厳しくやるのも難しいと思っておりますが、どこかで線を引いてやらんと市の職員もそろそろなめられているという言い方は悪いですけども、お願いをすれば繰り越ししてもらえんだという、中にはそういう業者の方々もおられますので、きちぎちに固めんではいいですけども、ある程度どこかで一線を引いて、この繰越明許については整理をしていかないと、職員の手も足らんとでしようけども、職員の方も現場に行つて、現場に行かんから着工したのもいつ着工したり、仕事の進みぐあいもわからんと思うとです。ぜひとも現場と打ち合わせをしながら、ぜひスムーズな工事ができますように、お願いをしたいと思っております。

私も毎年毎年のように繰越明許を言っておりますので、僕が見ているとどんどんどんどんふえてくる一方です。減ることは一つも見んとです。ここ三、四年、合併してからどんどんどんどん繰り越しがふえて、一つも減る傾向にないので、その辺はもう、来年またこういう状態であれば、もうかなり厳しく言わんといかんと思っておりますので、ある程度の融通は必要と思うんですよ。私もそれは理解しておりますけれども、ただなあなあになり過ぎて、何もかんも繰越明許ですよというわけにはいかんと思っておりますので、その辺。理由は後でどうしてもつけられますから、繰越明許。その辺よろしくお願いしておきます。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） おっしゃるように、職員の責に帰すべき遅れなのか、業者の責に帰すべき延長なのかということを確認にして、私はやはり職員の責に帰すべき責任については、やはり事務量等も考えにやいかんと思っておりますが、業者の責に帰すべきものについては、はっきり違約金、契約にあるわけですから、そういったものについても取るようにいたしたいと思っております。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、報告第2号平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告についての質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、報告第3号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告についての質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

以上で3件の報告を終わります。

#### 日程第4．議案第60号～日程第9．議案第65号

議長（牧永 護君） 次に、日程第4、議案第60号財産の無償譲渡についてから、日程第9、議案第65号平成22年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてまで6件を議題とし、これから各議案に対して質疑を行います。

初めに、議案第60号財産の無償譲渡について質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、議案第61号公の施設の指定管理者の指定について質疑を行います。質疑はありませんか。音嶋正吾議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） 指定管理の内容について若干お尋ねをいたします。

当施設は、産業廃棄物を取り扱う施設でございます。それで、最終的には監督責任は市に振ってまいります。そうした関係で、壱岐市農協に指定管理をするわけですが、その内容、特記事項というのは定めておられますか。指定管理をする上での特記事項。

それとか、例えば近隣の住民に対する配慮とか、そうした問題が生じる可能性もあるわけです。

ので、そうした面は監督立場にある壱岐市として、特記仕様書等の条文を入れる必要があるかと考えますが、その有無に関してお尋ねをいたします。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 契約事項でございますが、契約の中で特記というものはうたっておりません。

なお、地元との交渉につきましては、すべて交渉事につきましては農協のほうに指示をいたしております。

また、こういったものが明文化して残す必要もあろうかと思っておりますので、再度そのところは追加して契約をするようにいたします。

議長（牧永 護君） 音嶋正吾議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） 私は、この件に関しては取り決めにきちんとすべきであると考えます。なぜかと申しますと、産業廃棄物に家畜の処分は当たるわけです。そして、運搬業務をし、最終的には大村の焼却施設に持ち込むようになっているわけです。そうした経緯がある以上、やはりきちんとした法的な手段をもって処分する必要がありますので、そうした点も考慮して慎重に対処していただきたい、そのことを申し述べておきます。私はすべきと考えておりますが、執行当局の見解を改めて伺いをして、質問を終わります。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） ただいまの指摘につきましては、十分これを明記をして、指定管理の契約をしたいと、このように思っております。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） 今の61号の件で、ここに説明資料ということできょうもらっておるんですけども、説明はないとですね。説明がないなら、これについてちょっと質問をしたいんですけど、このままぼんと出されて、説明資料って書いてあって、説明もないもんですから、この内容について質問していいですか。多分委員会付託にはなると思うんですけども、私ちょっとわからんところでありますので、一、二点聞きたいと思っております。

まず、収入の部です。繁殖牛260円、肥育が72円ということで、これ多分もう負担金については壱岐のそれぞれの組織にオーケーをいただいておりますが、この戸別負担金の意味がちょっとわからんとです。1,000円って、これ1戸当たり1,000円ということですか。

それと、収入の部、利用料254頭分ということで出ておりますが、今わかればこれ成牛、12カ月以上と子牛と胎児の金額も、わかれば教えていただきたいと思っております。

それと、支出の部で、10カ月分の労務費が出ておりますが、これ10カ月分になった理由を。

あと2カ月分はどうなっておるのか。その辺、ちょっと質問。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 繁殖、肥育とも、互助負担分としてそれぞれ現在の飼育頭数は、繁殖で260円をいただくと。肥育については72円。また、戸別負担金でございますが、飼育農家からそれぞれ1,000円をいただくということにいたしております。

次に、労務費の10カ月分は、7月から指定管理をいたしましたので、10カ月分を予算を計上しているところでございます。

利用料につきましては、これは委員会で詳しく申し上げようと思っておりましたけれども、まず化製場の処理料でございます。これは胎児、共済外がまず6,300円、3カ月齢未満が6,300円、次に、3カ月以上12カ月未満が1万500円でございます。12カ月齢以上24カ月齢未満で同じく1万500円、この254頭の根拠でございますが、胎児を45頭、3カ月齢未満を190頭、3カ月齢以上12カ月齢を9頭、12カ月齢以上24カ月齢未満が10頭で算出をいたしております。

特に、胎児につきましては、この資料というものがありませんが、3カ月齢につきましては今まで共済等の保険の利用とか、こういったのから算出を農協のほうでいたしております。が頭数でございます。

次に、本土の輸送料でございますが、胎児の分については1,000トンで50円、3カ月齢未満が2,400円、3カ月以上12カ月齢未満が7,000円、12カ月齢以上24カ月齢未満が2万1,000円で算出をしているところでございます。

また、成牛につきましては、現在これはBSEの関係で頭数の試算はいたしておりませんが、利用料といたしましては現在のところ2万1,000円を計画をいたしているところでございます。

また、受付料といたしまして、利用料の算出根拠でございますが、胎児の分で1,000円、3カ月齢未満が5,000円、3カ月以上12カ月並びに12カ月齢以上24カ月齢未満で5,000円といたしております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） 済みません。委員会じゃないもので、もうちょっと詳しく聞きたいんですけども、ということは、12カ月以上24カ月以内を例えば処分するとすれば、1万500円と2万1,000円と5,000円の合わせた金額が農家の負担額になるということですね。

それと、これは多分持ち込んだあげくでしょうから、例えば自宅、特に心配するのは成牛、

12カ月以上からはかなり重たいですので、多分自宅から処理場までの運賃の負担はまた農家が負担するということになるわけですか。それもちょっと。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 自宅からこの一時保管施設までの運搬は個人の負担ということになっております。

議長（牧永 護君） 議長から理事に申し上げます。委員会だけじゃなくて、その資料は議員さん皆さん必要でございますので、後で全員に配付願いたいと思います。もう少し詳しい数字を。できるでしょう。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで議案第61号の質疑を終わります。

次に、議案第62号平成22年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。質疑の通告がありますので、これを許します。11番、中村出征雄議員。

議員（11番 中村出征雄君） 通告しておりますように、3点についてお尋ねをしたいと思います。

まず1点目は12ページ、2款の総務費6目の企画費19節の負担金補助及び交付金離島交流事業補助金150万円についてであります。第3回の全国離島交流中学校野球大会が鹿児島県の種子島で行われる予定ですが、参加チームの数とそして参加人員は何人なのか。また、参加校が決定しているのであればあわせてお尋ねをいたします。

次に、同じページの3款の民生費1目の社会福祉総務費13節の委託料417万2,000円についてであります。障害者（児）の生活心身状況等実態調査、これについては社協に委託との説明でありましたが、障害者（児）の対象者数についてもお尋ねをいたします。

それから17ページ、6款の商工費4目の観光費19節の負担金補助及び交付金、これは観光協会補助金270万円について、説明では周遊自転車レンタル事業電動機つき自転車20台購入とのことですが、1台当たりの購入単価及びどこに設置されるのか。またレンタル料等についてはどのようになっているのか。

以上3点についてお尋ねをいたします。

議長（牧永 護君） 山川政策企画課長。

政策企画課長（山川 修君） 中村議員の質問にお答えをいたします。

まず、離島交流事業補助金150万円について、参加チームの数と人員、または参加校が決定しておればという質問でございますが、本年度の国土交通大臣杯第3回全国離島交流野球大会は鹿児島県種子島で8月18日から22日までの4泊5日で行われます。壱岐市からは、市内中学



生の選抜チーム1チームを編成し、選手18名、監督1名、コーチ1名、計20名が参加する予定となっております。

今大会には、全国離島から、壱岐を含め17チームが出場し、熱戦が繰り広げられる予定となっております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 山内市民生活担当理事。

市民生活担当理事（山内 達君） 御質問の件についてお答えをいたします。

65歳未満の身体障害者手帳の所持者でございますけれども407名、それから65歳未満の療養手帳を所持されている方が652名でございます。当然、中にはダブルでお持ちの方もおいでになるということでございます。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 松尾壱岐島振興推進本部理事。

壱岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 中村議員さんの観光協会補助金についての自転車の購入単価、設置場所、レンタル料等についてのお尋ねについてお答えいたします。

観光協会補助金270万円の内訳は、50万円が福岡市ベークサイドプレイス博多等における壱岐のPRのための補助金でございます。残りの220万円が周遊自転車のレンタル事業に対する補助金となります。これは官公庁から認定を受けました玄界灘観光圏魏志倭人伝の道における壱岐市観光協会が事業主体になっております周遊自転車レンタル事業に対する補助金でございます。1台当たりの購入単価は15万円で、20台で300万円を予定されております。

また、設置場所につきましては、原の辻ガイダンスを予定しており、ガイダンスに設置することで一支国博物館、原の辻遺跡、その他観光地等が一体化した歴史探索コースの充実を図ることができるのではないかと考えております。

レンタル料については、正式に決定されておられません。1日当たり1台につき1,000円の利用料金収入を見込んでおるということでございます。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 次に、14番、榊原伸議員。

議員（14番 榊原 伸君） 14番。通告に従いまして、ページ数15ですが、5款の農林水産事業につきまして、畜産経営維持緊急支援対策事業について、説明を受けたと思っておりますけれども、もう少しちょっと詳しく説明をお願いしたいと思います。

次に、17ページですが、農林水産業費の中で3項水産業費2目水産業振興費の中で、強い水産業づくり交付金事業で、勝本漁協製氷貯水施設整備内示額増によるとなっておりますが、これは地方債を360万円含めて、一般財源が減額になって県費となっておりますが、なぜこのようにな

ったのか、お願いいたします。

同じく、漁港漁場整備費ですが、八幡浦漁港と久喜漁港とそれぞれどのような整備なのか、内容をお願いいたします。

それから、藻場造成工事が石田地区と説明を受けましたが、この石田地区には3月にもこの藻場造成工事がされたと思いますが、壱岐には5つの漁協があって、繰り返し同じ漁協となった理由をお願いいたします。

それから17ページ、同じく、先ほど同僚議員から質問がありましたが、このレンタル事業を始められることですが、安全面とかその辺、商工会のほうがされるのでありましょうが、少し、どのような対策をされているのか。

それと、博多観光PRのツール作成ということになっておりますが、どのようなものを作成されるのかお尋ねいたします。

以上について、よろしくをお願いいたします。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 畜産経営維持緊急支援対策事業について説明をいたします。

6月の競り市に1,107頭が上場される予定でありました。これが口蹄疫の発生の影響で競り市が延期になっております。このことで、販売予定牛1頭当たり配合飼料が一月で約9,000円増額するということで、2カ月競りが延期になった場合を想定をいたしまして、畜産農家の経営支援策として、負担増となる配合飼料代の3分の1を助成をするものでございます。これは、ちなみに、壱岐市農協からも3分の1助成されるようになっております。これはもう既に口座振込がなされているかと思っております。

この3,000円の根拠でございますが、予算計上いたしました、先ほどいいます9,000円の3分の1ということでございますが、配合飼料を農協のほうで試算をいたしておりますが、一日当たり4キロから5キロということで、その飼料代ということで考えております。

以上でございます。

八幡浦漁港並びに久喜漁港の工事内容ということでございます。八幡浦漁港についてであります。まず、本年は昨年度に引き続きまして外防波堤の施工を実施いたします。本年度の工事内訳の詳細といたしましては、30メートルが従来のハウカイ方式でございまして、残りの20メートルを基礎地盤が非常に軟弱ということから、サンドコンパクション工法と申しまして、地中に直径2メートルの穴を掘り、その中に砂を投入いたしまして、強固な地盤を施工するものでございます。置換率といたしまして70%でありまして、その上に捨て石を投入し、さらにその上にハウカイまたはケイソンを設置をし、堤体工を施工し、消波工を施工いたすものであります。

また、今後、マイナス3メートル岸壁の改良を漁協の前に設置をいたしております浮き栈橋に屋根をかける工事をこの後発注する計画であります。

次に、久喜漁港でございますが、マイナス2メートルの物揚げ場の取り付け護岸が2カ所、上流からの河川流入によりまして根が洗掘をされておりました、このまま放置をいたしますと、物揚げ場本体に影響を及ぼすような状況でありまして、今回その対策として、河床及び護岸の洗掘防止、護岸擁壁浸食対策を図るものでございます。

次に、藻場造成の件でございますが、当初予算で石田地区ということで説明をいたしております。これは、全体工事費というのは5,000平米で変更はないわけでございますが、3月当初予算作成時、予算要求時に事務費が対象外となっております、これを今回、藻場の5,000平米の造成のために増額をするものでございます。

特に、3月のときに説明が足らなかったと思っております。現在、21年度に郷ノ浦地区の繰り越しをやっておりました、22年度は石田地区でございます。この石田地区と郷ノ浦地区の違いというのをちょっと申し上げたいと思っておりますが、郷ノ浦地区は定着基質となる構造物を用いた藻場造成でございます、クロメの幼芽を付着をさせたブロックを埋めると。石田地区につきましては、ヤシユニットを用いた施肥による藻場造成、通常の工法とはこの石田は異なる工法で実施をいたします。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 浦財政課長。

財政課長（浦 哲郎君） 私のほうから、強い水産業づくり交付金事業の勝本漁協製氷貯氷施設の整備費内示額の増についてお答えをいたします。

本事業は、県費の増額の理由は、国費相当分の補助率の増嵩によるものであります。本事業は、国費を伴った間接の県補助金であります。国費と県費が合算されて県補助金で交付されます。当初予算では、総事業費3億450万円で、事業費には変更はございません。補助金の分で、国費の補助率が引き上げられ、変更内示を受けて補正をいたしております。当初予算では国費分が10分の5、県費の分が10分の1で、合わせて県補助金で10分の6でありました。今回の内示で、国費分が10分の5から10分の5.5になり、県費分は同じく10分の1で、合わせて10分の6.5が県から交付金が交付され、10分の0.5分の1,522万5,000円が増額になっております。

なお、当初予算での補助残の10分の4、これは国費、県費を引いた残りの分でございます。この分について壱岐市と勝本漁協で2分の1負担で、壱岐市の負担が10分の2で予算化をいたしておりました。今回の内示により、補助残が10分の3.5を市と漁協で2分の1負担で、市の負担が10分の2から10分の1.75になり、壱岐市の負担が減額となり、壱岐市負担分の

財源で地方債と一般財源を減額をいたしております。

事業主体の勝本漁協への補助額等は、当初予算で国、県、市を合わせて事業費の10分の8の補助率で2億4,360万円が、今回の変更補正で補助率が10分の8.25、2億5,121万2,000円となり、補助率が10分の0.25増嵩で761万2,000円の追加補正をいたしております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 松尾吉岐島振興推進本部理事。

吉岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 2点御質問にお答えいたします。

まず、自転車の先ほどお答えしましたレンタル事業の安全性の問題につきましてでございますが、観光協会が実施主体でございます。安全面については十分配慮するよう求めてまいりたいと思っております。

2点目の、博多の観光PRツール作成についてはどのようなものかというお尋ねにつきまして、先般、株式会社の九電工様より、ベイサイドプレイス博多においてポスター、パネルの掲示等のありがたい御提案をいただきましたので、これを機に、インパクトのある観光ポスターを8種類ほど新規に作成し、ベイサイドプレイス博多や福岡都市圏、また日本各地に掲示したいということで、さらなる知名度アップと交流人口の拡大を目指しております。これも事業主体は吉岐市観光協会、市は補助金として50万円を協会に支払い、総事業費100万円でポスター8種類、それからパネル、観光DVDの編集を行う予定としております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 先ほどの畜産経営の支援対策事業費について、その9,000円の歳出根拠について申し上げます。

配合飼料の1日の給与量を平均4.5キロといたしまして、1カ月で135キロで、7袋で1袋当たりが20キロでございますので、7袋を予定をいたしております。1袋当たりの単価を1,300円で、7袋で9,100円ということで、9,000円の算出をしているものでございます。

議長（牧永 護君） 榊原伸議員。

議員（14番 榊原 伸君） ただいまの説明で十分わかりましたけれども、商工費の中で、観光協会が始められるレンタル事業についてですが、民間でも実施されているところがあると思っておりますが、観光協会が市や国の補助をもらってやれば、民間の圧迫になるのではないかと考えますが、そうならないように御指導をいただきたいと思っております。

以上で終わります。

議長（牧永 護君） 以上で、通告による質疑を終わります。

ほかに質疑はありませんか。6番、町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） 僕もちょっと今榊原議員と同じ質問をしたいと思えますけれども、松尾理事、前も実は郷ノ浦町で同じように自転車レンタルのこういった事業をやって失敗したと思うんですが、それはその経過は御存じですか。どういう理由で失敗したとか。

それからもう一点、僕も博物館年間パスを持っていますから、もう五、六回行ったんですが、どういう人を対象に20台の自転車をあそこに並べて考えられとるとか。先ほど1,000円取ると言われましたけれども、だれを対象にして僕はあそこで自転車のレンタルのそんな観光コースにも、言うたら悪いですけども、あれ下に置いても上には自転車は上がってこれないし、上に自転車を置いてあそこの遺跡一帯を自転車で回るのに1,000円取るのもけしからんと思うし、あそこに自転車を置いてだれがそういった利用があるとかと、そもそもそういうふうなマーケティング調査みたいなのをされているんですか。何を、だれを対象にしてそういうふうな自転車のレンタル事業をしようかと。

観光協会が、こんな話がある。例えば観光客の人が1人2人、こんな貸し自転車があったらいいとかいうんで、僕はもしかしたらそれをしとるんじゃないかと思って、ちゃんとそういったマーケティングとか要望とかいうのがあってこの事業を補助金としてこれ計画されたとですか。それをちょっとお尋ねします。

議長（牧永 護君） 松尾壱岐島振興推進本部理事。

壱岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 申しわけありません。郷ノ浦の事例については、申しわけありません、把握をしておりません。

それから、2点目のだれが利用するのかでございますが、一応今度の購入する自転車が、先ほど申し上げました15万円でございますが、これは10万円ぐらいの程度の自転車も実はあるそうでございますが、一応15万円にしたのが、坂道に強いということでございまして、とりあえず下のガイダンス施設に置いた場合、上の一支国博物館までは可能だということで考えて自転車の金額は定めております。そういうことで、電動自転車の購入を考えております。

そうなりますと、結構電動自転車でございますから、原の辻ガイダンスのそばには、裏にも古墳もございますし、松永記念館もございます。博物館もございますし、筒城浜もございます。そういう意味で、観光として需要があるのではないかという判断で今回この事業について計画をされたことについて補助金を出すということで予算要求の考え方を整理しているわけでございます。

以上です。

議長（牧永 護君） 町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） 前の当初予算でも言いましたけど、基本的に民間だったらまず

マーケティング調査をするんですよ。そういった要望があるのかとか、そういった需要があるのかとか、あるいはどこに自転車が置くのが一番いいのかとか。僕は、言うたら悪いけど、その自転車をガイドス施設に置いて原の辻とか筒城浜まで乗っていく観光客がほんとおるのかと。今なんかガイドスたっただれも人がおらんじゃないですか、そもそも。博物館なんか見とってくださいよ。あそこもほとんど車で来ていますよ、みんな。あそこ歩いてくる人なんかいうたら何人おりますか。1日に。

僕はもうこういう、今の説明を聞いても、全く納得できん。しかも、旧、多分郷ノ浦町の職員の方もおられると思うんです。聞いたらいいですよ。郷ノ浦町も同じようにレンタル、こんな形をやったんですよ。そしたらそのまま倉庫に行きっ放しじゃないですか。もう少しやっぱり工夫すべきじゃないですか。こんなのは。どう考えても、余りにも僕はざさんだと思いますよ。

例えば、これを20台をばこんと、その20台という数字の根拠も私も説明もよくわからん。電気自転車を、坂道やから電気自転車を1台10万円から15万円の電気自転車をここに配置するという計画は、そもそもこの事業計画、これはきょうは総括なんで、予算委員会で僕はちょっと徹底的に積算根拠と理由と事業計画書をきちんと出してください。需要予測も出してください。もうそのくらいを一つ一つやってくれんと、もうこんなもう、特にこの原の辻関係については、この前も言ったけれども、1,000万円とか2,000万かの金が平気でぼんぼんつける。しかも予算委員会で追求してもまともに回答もできん。こんなんでもう1,000万円、2,000万円を、普通の家だったら家1軒建つんですよ。200万円だったら普通の家族が1年間暮らせるんですよ。しかも一般財源から、こんなにして平気で出している。

僕はもうこの分には理事、予算委員会僕ちょっと聞きますんで、この件についてだけ。事業計画書と需要予測と、それで失敗したらだれが責任とるとか。それまでちゃんと書いて出してください。観光協会に丸投げしてけん観光協会が責任とるじゃないんですよ。それお願いします。

議長（牧永 護君） 松尾壱岐島振興推進本部理事。

壱岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 今の御指摘を受けまして、来週の予算委員会で御説明をしたいと思えます。

なお、済みません。全体事業費を私説明しそこなっております、これは国からの補助と市の補助と観光協会の資金でやっております。その辺も含めて予算委員会で納得いただけるような説明ができたらと思っております。

以上です。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、議案第63号平成22年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、議案第64号平成22年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

次に、議案第65号平成22年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

以上で、議案に対する質疑を終わります。

これより委員会付託を行います。議案第60号財産の無償譲渡についてから、議案第61号公の施設の指定管理の指定についてまで、議案第63号平成22年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）から、議案第65号平成22年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第1号）についての5件を、お手元に配付の議案付託書のとおりそれぞれ所管の委員会に付託したいと思います。

お諮りします。議案第62号平成22年度壱岐市一般会計補正予算（第1号）については、議長を除く19人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託し審査をすることにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第62号については、議長を除く19人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査をすることに決定しました。

次に、予算特別委員会の正副委員長を決定する必要がありますので、委員会条例第10条第1項の規定により直ちに予算特別委員会を招集します。委員会において委員長及び副委員長の互選をし、議長まで報告をお願いします。委員長及び副委員長の互選に関する職務は、委員会条例第10条第2項の規定により、年長の委員が行うことになっておりますので、よろしく申し上げます。

なお、委員会の場所は、第2会議室と定めます。

それでは、しばらく休憩します。

午前10時49分休憩

〔予算特別委員会 開催〕

午前10時56分再開

議長（牧永 護君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

予算特別委員会の正副委員長が決定いたしましたので、御報告します。

予算特別委員長に14番、榊原伸議員、副委員長に11番、中村出征雄議員を決定いたしましたので、御報告します。

日程第10．議案第66号

議長（牧永 護君） 次に、日程第10、議案第66号八幡浦地区特定漁港整備工事（1工区）請負契約の締結についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） 本議案につきましては、担当理事に説明をさせますので、よろしく願います。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

〔産業経済担当理事（牧山 清明君） 登壇〕

産業経済担当理事（牧山 清明君） 議案第66号八幡浦地区特定漁港整備工事（1工区）請負契約の締結について御説明をいたします。

八幡浦地区特定漁港整備工事（1工区）請負契約を下記のとおり締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求め、本日の提出でございます。

記、契約の目的、八幡浦地区特定漁港整備工事（1工区）。契約の方法、指名競争入札。契約金額、4億1,433万円。契約の相手方、壱岐市芦辺町諸吉本村触2178 10、松石建設株式会社壱岐支店支店長石井申明。

提案理由、壱岐市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を経る必要があります。

次ページをお開き願いたいと思います。工事場所につきましては芦辺町諸吉本村触地先でございます。

工事内容でございますが、次の図面をお開き願いたいと思います。現在まで全体事業を



170メートル施工をいたしております。黄色の部分でございますが、これが21年度に施行いたしました40メートルで、全体170メートル完成をいたしております。この石垣部分でございますが、今回外防波堤50メートル、基礎工としまして76メートル、堤体工が50メートル、消波工が38メートルでございます。工期が契約発効の日から平成23年3月29日まで。入札の状況は記載のとおりでございます。

以上で説明を終わります。

〔産業経済担当理事（牧山 清明君） 降壇〕

議長（牧永 護君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。3番、音嶋正吾議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） 工法に関してお尋ねをいたします。

本年度施行部分で、基礎工事でサンドコンパクションを採用されるとお聞きをいたしましたが、その翌年度も地質調査で地質が悪くて引き続きサンドコンパクションの必要があるのかどうか。その工法に関してのみお尋ねをいたします。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 先ほど議案で説明をいたしましたように、現在、170メートル実施をいたしております。この先200メートルから非常に地質が悪い状況でございます。今年も30メートルまではハウカイでいきますけれども、ことしあと20メートルにつきましては、サンドコンパクションを用いまして、ケイソンで施行するわけでございます。この先、ずっとケイソンを設置するように計画をしているところでございます。

また、工法につきましても、サンドコンパクション工法を実施いたします。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 音嶋正吾議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） これは要望ですが、平面図だけではなかなかわかりかねますので、できましたら縦断面図と標準断面図ぐらいをおつけいただければ、そうした配慮を施していただきたいということを要望いたしておきます。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。

「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第66号八幡浦地区特定漁港整備工事（1工区）請負契約の締結については、産業建設常任委員会へ付託いたします。

議長（牧永 護君） 以上で、本日の日程は終了しました。これで散会いたします。お疲れさまでした。

午前11時02分散会